

副市長あいさつ

皆さんこんにちは。

今日は秋晴れの好天の日でございます。

何かとお忙しい折にご出席をくださいまして、誠にありがとうございます。

一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、平素よりそれぞれのお立場から、市政全般にわたりご理解、ご協力をいただいておりますことに対しまして、あらためて厚くお礼を申し上げます。

アメリカのサブプライムローンに端を発した世界的な株価の暴落による金融不安など、国を取り巻く経済環境も大変先行きが不透明な状況となっております。

本市を取り巻く状況につきましても、少子高齢化による人口減少時代の到来や国の三位一体の改革による地方交付税の削減等により、大変厳しい状況となっております。

このような中、事務事業の見直しによる経費の削減や職員の定員管理の適正化による人件費の削減など、行財政改革を市の重要施策として進めているところでございます。

公共事業に関しましては、市民生活の向上を図るうえで、大変重要な役割を果たしておるものではございますが、このような社会経済情勢の中で、一定期間を経過した事業を対象に事業の見直しを行うことにより、公共事業の一層の効率化、重点化及び透明性の向上を図ることを目的に、再評価委員会を設置させていただいているところでございます。

今回、再評価委員会へお諮りする事業は、公共・特環下水道事業についてであります。

詳しくは後ほど担当から説明させますが、国の基準に基づきまして、10年ごとに再評価を実施する事業でございます。

これから、種々ご検討いただくこととなりますが、委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴したいと考えておりますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。